

	号外	定価 1部2円	職場改善は一部前進あるも欠員解消をはじめ重要課題は継続に。引き続き実感できる改善に向け結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2018確定闘争⑩ 最終局面・11.7県職労総務部長交渉 総務部長「課題共有し同じ方向で改善」示す 人員確保 欠員解消に向け努力・各部局実態踏まえ適切に対応 超勤課題 12月補正で昨年並み以上の超勤予算増額 薬剤師も来年度から初任給・医（Ⅱ）2-19号（+4号）へ

11月7日、県職労は人員確保、超勤課題をはじめとした独自課題の改善に向け、最終局面となる総務部長交渉を行った。これまでの人事課長交渉での当局回答は、薬剤師の処遇改善などで前向き姿勢が示されたものの、その他の課題は具体的改善として不十分であったことから、総務部長としての具体的な改善姿勢を強く求めた。県職労独自課題に係る交渉結果は、次のとおり。



総務部長の姿勢を質す県職労交渉団

【交渉結果】給与改定に関連し、臨時・非常勤職員の賃金改善に関し、「職員の給与改定に準じて行っており、今年度も見直しを行う予定」とした。専門職種の処遇改善に関し、「薬剤師も来年度から初任給を医（Ⅱ）2-19号となるよう人事委員会規則改正を要請。在職者調整も行う」回答を引き出した。

人員確保は「結果として欠員解消まで至っていないことは申し訳ない」と釈明し、欠員解消に向け引き続き努力すること、県職労から各部局への人員要求に関し、「県職労赤枠でも把握。各部局からのヒアリングを行い、現場実態を踏まえて適正な人員配置を検討し、判断」との姿勢を引き出したことから、交渉団から保健福祉・現業課題等を訴え、一層の対応を求めた。超勤課題に関し「昨年度並み以上の超勤予算の増額を12月補正で行うため、現在精査中」との回答を引出した。交渉団から、超勤予算が確保しづらい現状を訴え、実態を踏まえた予算配分を強く要請した。



回答する佐藤総務部長（左）

総務部長から「課題を共有し、同じ方向で実態を踏まえた改善を検討していく」決意を引き出したことから、小野委員長から「現場実態の課題を受け止め改善を」と申し入れ、今期交渉を終了した（交渉結果は裏面）。

1 高齢層職員の処遇改善

(県 職 労) 来年3月末で現給保障が満了し、4月から賃下げに陥る方も相当数いる。具体的対策は、(総務部長) 全体の1割を下回る状況だが、一定数が現給保障対象。個々に着目した勤務意欲確保に向けて、主幹任用・勤勉手当の運用上の工夫などを継続する。これまで高齢層職員に対しこのような対応となったことは心苦しい。現給保障も1つの視点として勤務意欲確保に向けた取り組みを進める。
(県 職 労) 総務部長の決意として、実感が持てる処遇改善策の実現を強く要請する。



薬剤師改善を・佐藤拓中執

2 専門職員の処遇改善

(県 職 労) 先の交渉で薬剤師の処遇改善の姿勢が示された。検討結果は、(総務部長) 薬剤師も獣医師と同じく、来年度から4号給引上げ、医(Ⅱ)2-19号とするよう人事委員会規則改正を要請。在職者調整も併せて要請する。
(県 職 労) 依然として民間との賃金格差が大きい。一層の改善を求める。

3 人員確保



技能員の補充を・上野中執

(県 職 労) 具体的な欠員解消見通しが示されず、職員が安心できる回答をいただいている。来年度に向けた欠員解消策を求める。併せて、保健福祉部など各部局に人員要請したが、それを踏まえて適正な人員配置を。

(総務部長) 欠員は徐々に減少しているが、欠員解消まで至ってなく、申し訳ない。欠員解消の取り組みは来年度以降も努力。育休代替職員の配置は、他県の任期付職員の活用など様々な方法を研究。各部局への要求内容は県職労赤枠で承知。各部局からヒアリングを行いながら、適正な人員配置を検討。現場実態を踏まえて適切に判断。

(県 職 労) 総務部長として一層の対応を要請する。また、福祉関係、保健師、栄養士、現業などの職場課題を訴えた。実態に即した改善を強く要請する。



中執発言に回答する佐藤総務部長

4 超過勤務課題

(県 職 労) 「働き方改革推進強化月間」の取り組みは改善となっていないとの声もある。適正な勤務時間管理の更なる徹底と対策を。今年度の超過勤務の状況をヒアリングしたとしているが、検討結果は、(総務部長) 超勤縮減は今年新たな取り組みを開始。様々な取り組みを継続して進める必要。超勤予算は昨年度並み以上の増額を12月補正で行うこととし、所要額の最終的な精査中。客観的な勤務時間把握は、来年4月施行に向け他県の取り組みを情報収集しつつ、組合と意見交換しながら対応を検討。
(県 職 労) 確保した予算が不足している各所属に配分されるよう求める。現場では予算配分が十分でなく、超勤調整などもされているようだ。一層の指導強化を強く求める。
(総務部長) 勝手な超勤実績削減はあってはならない。本庁と各出先の管理担当課で実態を聞き、各々の職場で適正に対応する必要がある。

5 住環境の整備

(県 職 労) 来年度定期人事異動を見据え、住居地確保が課題。一層の対策を。併せて公舎修繕を。
(総務部長) 重要な課題。異動により公舎不足が生じないよう事前に必要数を把握し、借上げ公舎により対応。今年からリニューアル等の対応もしている。住居の更新等にも配慮して取り組みを進める。